

9月4日(月) / 4th Sep. (Mon)

	Room A (S235)	Room B (G101)	Room C (G201)
	S1: 企画シンポジウム 「検証COVID-19対策と流行動態分析(1)」	S6: 企画シンポジウム 「理論免疫学による免疫システムの統合的な理解～基礎から臨床まで～」	S3: 企画シンポジウム 「生物の形態形成と細胞運動に関する実験・数理的な取り組み」
	オーガナイザー: 西浦 博 (京都大学) 安齋 麻美 (京都大学)	オーガナイザー: 西山 尚来 (名古屋大学 理学研究科) 吉戸 香奈 (京都大学 生命科学研究科)	オーガナイザー: 秋山 正和 (富山大)
9:30-11:10	伊藤 公人 (北海道大学) 「TBA」 茅野 大志 (京都大学) 「オミクロン株流行期における予防接種プログラムの評価」 林克 磨 (京都大学) 「TBA」 安齋 麻美 (京都大学) 「ヒトの移動動向によるCOVID-19流行動態への影響」 植田 陽 (京都大学) 「TBA」	西山 尚来 (名古屋大学 理学研究科) 「感染性SARS-CoV-2排出に対する粘膜特異的分泌型IgAの抑制効果の定量的解析」 吉戸 香奈 (京都大学 生命科学研究科) 「免疫系における予測符号化に基づく適応的な抗原の有害/無害識別」 須藤 麻希 (広島大学 統合生命科学研究科) 「健康な皮膚と病的な皮膚における炎症反応の時空間的制御戦略」 熊谷 雄太郎 (産業技術総合研究所) 「免疫系の情報理論的モデル」	小沼 健 (鹿児島大) 「オタマボヤのハウス展開機構と網目形成」 森川 健太郎 (京都大) 「幾何学からみた生物の曲面形態形成の解析手法」 柴 小菊 (筑波大) 「精子走化性の運動制御機構」 佐藤 勝彦 (北海道大) 「細胞運動の力学的機構」 秋山 正和 (富山大) 「数学から見たVertex Dynamics Model」
11:10-11:30	休憩 Break (20分)		
	Room A (S235)	Room B (G101)	Room C (G201)
11:30-13:30	O1-1: 一般講演 システム生物学A System Biology A	O1-2: 一般講演 生態学A Ecology A	O1-3: 一般講演 生物数学A Mathematics in Biology A
	座長: 儀保 伸吾	座長: 岩田 繁英	座長: 佐々木 徹
①11:30-11:50	太田 亮作 (広島大学統合生命科学研究科) 「立体構造に基づく人工機能性タンパク質の性能予測」	吉田 勝彦 (国立環境研究所) 「生態系変化の予測に生態系進化モデルを使うことの利点」	西原 伸 (名古屋大学大学院多元数理科学研究科) 「パターン形成と消失の変遷メカニズム」
②11:50-12:10	小林 徹也 (東京大学生産技術研究所) 「Spectral Graph NNによる化学分子表現とその匂い認知予測への応用」	富塚 暖史 (東京立大学) 「生態進化フィードバックがベイツ型擬態の生態学的帰結に及ぼす効果」	瀬野 裕美 (東北大学) 「ロトカ・ボルテッラ系において捕食者1種はどのくらいの数の餌種と共存できるか? : 種の削減・導入による状態遷移」
③12:10-12:30	佐藤 隆 (日本ゼオン株式会社) 「離散確率アルゴリズムによる生体膜タンパク質と基質の反応-輸送モデリング」	庵佐 庸 (九州大学) 「樹木の個体内遺伝構造は茎頂分裂組織での細胞挙動で決まる」	森本 早織 (中央大学) 「アリの採餌行動モデルにおける経路の消滅および生成」
④12:30-12:50	中村 絢斗 (理化学研究所) 「伸長方向を制御する細胞による勾配方向の推定限界」	中橋 渉 (早稲田大学) 「新人の拡散の数理解析」	田中 吉太郎 (公立ほこだて未来大学) 「格子上の空間離散モデルにおけるハターン形成の数理解析」
⑤12:50-13:10	沼田 大翔 (早稲田大学大学院) 「メディアのブランド効果を加味したSIQRモデルで分析するエンタメ流行拡大の要因」	大崎 晴菜 (東京立大学) 「植物群集の空間構造が植食性昆虫の化学的嗜好性の進化と分布に与える影響」	Carolin Grumbach (Kyoto University and Osnabrück University) 「The effect of dispersal, the Allee effect and adaptive dynamics on the asymptotic total population size in a spatially fragmented habitat」
⑥13:10-13:30	瓜生 耕一郎 (金沢大学) 「少数の温度非依存性の生化学反応による概日時計の温度補償」	休憩 Break (20分)	今 隆助 (宮崎大学) 「単純な離散時間競争モデルにおける適応的な繁殖遅延」
13:30-15:10	昼休憩 Break (100分)		

9月4日(月) / 4th Sep. (Mon)

	Room A (S235)	Room B (G101)	Room C (G201)
15:10-16:30	O1-4:一般講演 疫学・病気A	O1-5:一般講演 発生	O1-6:一般講演 行動
	座長: 岩見真吾	座長: 瓜生耕一郎	座長: 入谷亮介
①15:10-15:30	岩見 真吾 (名古屋大学) 「急性肝不全の未来予測」	杉原 圭 (九州大学) 「ヒト好中球分葉核形成の数理モデル」	江添 綾七 (中央大学) 「アリの採餌行動スイッチング模型における経路選択相転移現象」
②15:30-15:50	若本 環希 (広島大学大学院統合生命科学研究科) 「細胞内・細胞間ネットワークを用いた肺がん脳腫瘍の最適な治療」	西川 星也 (東京大学) 「2種細胞モデルによる3D組織形成」	村瀬 洋介 (理化学研究所計算科学研究センター) 「Indirect reciprocity with stochastic and dual reputation updates」
③15:50-16:10	松尾 光晟 (九州大学) 「がんコロナーの複数化に及ぼす免疫系の影響: 数理的な研究」	山本 溪一 (京都大学大学院) 「魚類の網膜における錐体モザイク形成に関する力学モデルを用いた考察」	山内 淳 (京都大学) 「血縁集団内の協力ゲームにおける適応ダイナミクスと混合戦略」
④16:10-16:30	矢田 祐一郎 (広島大学) 「連続時間隠れマルコフモデルによる個人差の大きい筋萎縮性側索硬化症進行のモデル化」	池田 香凛 (九州大学マス・フォア・インベーション関係学府) 「アザラシ類の歯形態のモデリングと形態測定学的解析」	藤原 真奈 (京都大学) 「古典的条件付けにおける応答を説明する予測的恒常性強化学習」
16:30-16:50	休憩 Break (20分)		
	Room A (S235)	Room B (G101)	Room C (G201)
	S4:企画シンポジウム 「COVID-19対策の検証と流行動態分析 (2)」	S5:企画シンポジウム 「マルチスケール反応ネットワークの数理と 実証研究の展望 I」	S2:企画シンポジウム 「エネルギー地形解析の最前線: 多様な領域 での活用」
	オーガナイザー: 西浦 博 (京都大学) 岡田 雄大 (京都大学)	オーガナイザー: 望月 敦史 (京都大学)	オーガナイザー: 立松 大機 (名古屋大学 大学院理学研究科) 阿部 真人 (同志社大学 文化情報学部)
16:50-18:30	岡田 雄大 (京都大学) 「滞留人口データの活用に基づくCOVID-19流行の時空間解析」 雨宮 優理 (京都大学) 「早期治療・早期診断がCOVID-19の致死率に及ぼす影響」 張 同 (京都大学) 「血清疫学と診断バイアスの推定」 小林 鉄郎 (京都大学) 「ダイヤモンドプリンセスの船上流行」	望月 敦史 (京都大学) 「ネットワーク構造に由来する生命機能と機能単位」 澤田 駿・時田 恵一郎 (名古屋大学) 「ドーパミン生成反応ネットワークの構造感度解析」 雨宮 隆 (横浜国立大学) 「中心代謝系振動」 大岡 英史 (理化学研究所) 「散逸化学反応ネットワークの寿命に関するモデル構築と実験検証」	江崎 貴裕 (東京大学 先端科学技術研究センター) 「エネルギー地形としてデータを視る」 鈴木 健大 (特定国立研究開発法人理化学研究所 バイオリソース研究センター) 「エネルギー地形解析と生態学」 石川 哲朗 (慶應義塾大学 医学部) 「健康医療データへのエネルギー地形解析の応用」 立松 大機 (名古屋大学 大学院理学研究科) 「ELAによるコロナ禍での抑うつ状態個人変動の集団特性の検出」 コメンテーター: 合原 一幸 (東京大学 国際高等研究所ニューロインテリジェンス国際研究機構)

9月5日 (火) / 5th Sep. (Tue)

	Room A (S235)	Room B (G101)	Room C (G201)
9:00-11:00	O2-1:一般講演 生態学B Ecology B	O2-2:一般講演 進化A Evolution A	O2-3:一般講演 細胞 Cell
	座長: 吉田 勝彦	座長: 佐々木 顕	座長: 西川 星也 (東京大学)
①9:00-9:20	島谷 健一郎 (統計数理研究所) 「散布制限を有する植物個体群の非正常クラスター点過程モデルとその1次及び2次モーメント関数」	別所 和博 (埼玉医科大学) 「空き地を伴う有限集団における固定確率 - 低出生率低死亡率戦略の有利性」	内之宮 光紀 (一般財団法人電力中央研究所) 「頻度依存的適応度を用いた細胞競合の数理解析モデル」
②9:20-9:40	加茂 将史 (産業技術総合研究所) 「化学物質の生態リスク評価 - 複合影響で考慮しなければならない物質の数と不確実性」	藤本 悠雅 (総合研究大学院大学) 「私的評価下の間接互恵におけるLeading eight normsによる協力の安定性」	福田 真大 (早稲田大学大学院先進理工学研究所) 「動きまわる細胞と組織の融合モデルの開発」
③9:40-10:00	笠原 剛樹 (東北大学) 「植物プランクトン群集を対象とした動的結合ネットワークのアグリゲーション」	田村 和広 (静岡大学大学院 自然化学系教育部 環境エネルギーシステム専攻) 「公共財ゲームにおける合理的な選択と強化学習の関係について」	赤尾 マルワ (名古屋大学) 「骨代謝細胞と骨代謝マーカーの数理解析による不動性骨粗鬆症の理解」
④10:00-10:20	染野 大輝 (九州大学) 「植物フェノタイプの定量解析を促進する3次元再構築手法の提案」	MD Sams Afif Nirjho (Tokyo Institute of Technology) 「Effects of sanction on the evolution of cooperation in the division of labor on a tree graph network」	金子 貴輝 (広島大学) 「オミクス間関係に基づく細胞の分類」
⑤10:20-10:40	難波 利幸 (大阪公立大学) 「寄主植物特異性は植食性昆虫の高い多様性を説明し得るか?」	Fangyue Liu (Tokyo Institute of Technology) 「The Evolution of Cooperation in Linear Supply Chain by Replicator Dynamics and Reinforcement Learning」	岩波 翔也 (名古屋大学) 「性質の異なる造血幹細胞の加齢に伴う変化の理解」
⑥10:40-11:00	時田 恵一郎 (名古屋大学大学院情報学研究科) 「実データを用いた微生物相互作用の推定」	佐々木 顕 (総合研究大学院大学) 「有限集団における協力の進化の2/3則: 集団サイズが遺伝子頻度に依存する効果」	北口 裕太 (金沢大学大学院自然科学研究科) 「SCNネットワークにおける概日時計の履歴効果」
11:00-12:40	G202会場 ポスターコアタイム (100分) Poster session core time		
12:40-14:00	昼休憩 Lunch break (80分)		
14:00-16:10	Lecture hole 講堂会場 総会、奨励賞受賞講演 General meeting and award presentation 藤本悠雅「複雑な社会構造を数理によって理解する」 伊藤公一「ゲーム理論を通して生態学を覗く」		
16:10-16:30	休憩 Break (20分)		
	Room A (S235)	Room B (G101)	Room C (G201)
	S7:企画シンポジウム 「COVID-19パンデミック中の他の疾患の動態に係る疫学モデル研究」	S8: 企画シンポジウム 「繁殖価はどう活用できるか」	S9:企画シンポジウム 「医療研究の共創: 基礎・応用分野をつなぐ数理解析の架け橋」
	オーガナイザー: 西浦 博 (京都大学) 藤本 万理恵 (京都大学)	オーガナイザー: 大槻 久 (総合研究大学院大学)	オーガナイザー: 林 玲奈 (九州大学)
16:30-18:30	西浦 博 (京都大学) 「水痘への影響予測」 三山 豪士 (大阪健康安全基盤研究所) 「RSV感染症への影響予測」 藤原 聖子 (京都大学) 「日本国内のHIV感染者数と診断比率の年齢群別推定」 藤本 万理恵 (京都大学) 「熱中症へのCOVID-19流行の影響推定」	大槻 久 (総合研究大学院大学) 「イントロダクション: 繁殖価とは何か」 高田 壮則 (北海道大学) 「繁殖価と個体群行列モデルの歴史」 若野 友一郎 (明治大学) 「変動環境下における分散の進化と繁殖価」 沓掛 展之 (総合研究大学院大学) 「動物の社会進化における繁殖価の役割」 横溝 裕行 (国立環境研究所) 「繁殖価の流れを用いた在来種と外来種の相違の検討」	井出 春佳 (富山大学大学院 医薬薬学教育部) 「臨床データと理論予測に基づく早産児におけるカフェインの個別投与法の開発」 大森 亮介 (北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所) 「新興感染症流行に対するヒトの行動変容の法則」 林 玲奈 (九州大学大学院 システム生命科学府) 「抗ウイルス薬投与と停止後の感染症再陽性化」 森 康子 (神戸大学大学院 医学研究科) 「ヒトヘルペスウイルス6B宿主受容体発現とウイル
18:40 - 20:30	懇親会 Banquet		

9月6日 (水) / 6th Sep. (Wed)

	Room A (S235)	Room B (G101)	Room C (G201)
9:00-10:40	S10:企画シンポジウム 「医学で活躍する数理データ解析」	S11:企画シンポジウム 「マルチスケール反応ネットワークの数理と実証研究の展望 II」	O3-1:一般講演 生物数学B Mathematics in Biology B 座長: 瀬野裕美
①9:00-9:20	オーガナイザー: 中村 直俊 (名古屋大学大学院 理学研究科 理学専攻 異分野融合生物学研究室) 朴 炯基 (名古屋大学大学院 理学研究科 理学専攻 異分野融合生物学研究室)	オーガナイザー: 望月 敦史 (京都大学)	廣瀬 草太郎 (九州大学大学院システム生命科学府) 「BVOCを利用した植物間コミュニケーションの進化条件」
②9:20-9:40	朴 炯基 (名古屋大学大学院理学研究科 異分野融合生物学研究室) 「COVID-19感染者の唾液中のウイルス排出パターンの不均一性」	瀬戸 蘭美 (奈良女子大学) 「イントロダクション + 微生物の酸化還元ネットワーク理解のための数理『化学』アプローチ」	稲葉 寿 (東京学芸大学) 「静的異質性をもつケルマック・マッケンドリックモデルの基礎概念」
③9:40-10:00	小松 瑞果 (神戸大学大学院 システム情報学研究科) 「TBA」	柴崎 航一 (早稲田大学) 「生命分子サイズから反応ネットワーク構造までを支配する対称・非対称性混在の重要性」	小島 響子 (名古屋大学) 「非科学的コミュニティを対象としたウイルスダイナミクス研究の広報戦略」
④10:00-10:20	伊藤 真里 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所) 「TBA」	二又 裕之 (静岡大学) 「合成微生物群集系における共存機構の解析」	酒井 憲司 (東京農工大学) 「兵庫県全域におけるドングリ豊凶の空間位相同期」
⑤10:20-10:40	中村 直俊 (名古屋大学大学院理学研究科 異分野融合生物学研究室) 「Mathematical data analysis of heterogeneous immune response to COVID-19 booster vaccine」	岡田 崇 (京都大学) 「生化学反応ネットワークにおける摂動応答・分岐現象をネットワーク構造から理解する」	佐々木 徹 (岡山大学大学院) 「シンプルな細胞・病原体・免疫系の安定性解析」
10:40-11:00	休憩 (20分)		
	Room A (S235)	Room B (G101)	Room C (G201)
11:00-13:00	O3-2:一般講演 疫学・病気B Epidemiology / Disease B	O3-3:一般講演 システム生物学B System Biology B	O3-4:一般講演 生物数学C Mathematics in Biology C
	座長: 佐伯晃一	座長: 小林 徹也	座長: 今 隆助
①11:00-11:20	加藤 祐介 (東京大学大学院) 「非対称に相互作用する免疫-ウイルス間の数理モデルに見られる、ウイルス量の振動現象と増殖率の同期現象」	Gen Kurosawa (RIKEN iTHEMS) 「Unsolved problems of daily rhythms and waveform of time series」	國谷 紀良 (神戸大学大学院) 「年齢依存感染性を考慮したSIRモデルにおけるホップ分岐」
②11:20-11:40	山本 将太郎 (名古屋大学) 「身体の各部位におけるMpoxの病変数動態」	工藤 秀一 (九州大学) 「カーボンホメオスタシスモデルに基づく植物デンプン代謝の日長応答変異体の表現型解析」	Sharafudeen Dahiru Abubakar (Research Institute for Biomedical Science, Tokyo University of Science) 「Tissue-specific carcinogenic profiles as revealed by computational modeling of locoregional recurrence with spatial structure」
③11:40-12:00	浅井 雄介 (国立国際医療研究センター病院) 「細胞間感染の時空間数理モデル」	儀保 伸吾 (理化学研究所) 「冬眠中の体温変動を再現する数理モデルの推定」	大泉 嶺 (国立社会保障・人口問題研究所) 「多状態年齢構造化人口モデルに現れるフレドホルム方程式とその解」
④12:00-12:20	松浦 武留 (名古屋大学) 「生体肝移植の予後予測」	藤田 泰久 (名古屋大学 大学院理学研究科 理学専攻 異分野融合生物学研究室) 「オセルタミビル第3相臨床試験における患者特性および治療データの解析: インフルエンザウイルスの動態と臨床検査値を用いた効果的な影響の探索」	YongJin Huan (Kyoto University) 「A generalized structural bifurcation analysis of chemical reaction networks」
⑤12:20-12:40	森 健介 (京大生体生態学センター) 「空間明示個体ベースモデルを用いた生物多様性・感染症関係の解析」	梶田 真司 (福井大学) 「Active thermodynamic forceによる擬似斥力を利用した細胞内オルガネラの移動と配置」	守田 智 (静岡大学) 「感染症伝播に対するネットワーク構造の影響」
⑥12:40-13:00	佐伯 晃一 (東京理科大学) 「個体ベースモデルによるがんの進化と免疫逃避」	水野 歩人 (早稲田大学 基幹理工学部 機械科学・航空宇宙学科 内藤研究室) 「巨視的反応モデルによる経済変動予測」	伊藤 祥太 (静岡大学大学院) 「2変数のロトカ・ヴォルテラモデルによる 2次の反応項のチューリングパターンに与える影響」
13:00-14:20	昼休憩 (80分)		

9月6日（水） / 6th Sep. (Wed)

	Room A (S235)	Room B (G101)	Room C (G201)
14 : 20 – 16 : 00	O3-5:一般講演 疫学・病気C Epidemiology / Disease C 座長：Catherine Beauchemin	O3-6:一般講演 進化B Evolution B 座長：渡部 輝明	O3-7:一般講演 生態学C Ecology C 座長：横溝 裕行
①14:20-14:40	Catherine Beauchemin (RIKEN) 「Random failure of virus infection after cell entry: implication for antiviral therapy」	渡部 輝明 (東北医科薬科大学) 「合祖過程によるウイルス感染流行時の遺伝的多様性の解析」	内海 邑 (日本大学) 「共生系における進化的心中」
②14:40-15:00	Sayed Irin Akter (York University) 「Spatial analysis of SEIS model and its equilibrium properties, using point pattern process.」	大室 宏平 (東北大学) 「種子散布動物が駆動する大型種子の進化」	Kim Bo-Moon (Center for ecological research, Kyoto university) 「The tragedy of the commons from a view point of resource allocation schedule.」
③15:00-15:20	Yong Dam Jeong (Nagoya University) 「Designing optimal isolation guidelines for Monkeypox-infected patients: simulation with viral clearance model」	本屋敷 健太 (九州大学) 「うつ病関連遺伝子の進化モデル」	岩政 公平 (九州大学) 「葉脈構造の規則性と多様性の解明に向けた大規模葉脈染色画像データの定量解析」
④15:20-15:40	SooYoun Choi (Nagoya University) 「Prediction of characteristics for distinguishing immune reconstitution inflammatory syndrome (IRIS)-induced hepatic flare (HF) in HBV/HIV-1 co-infected patients」	伊藤 洋 (総合研究大学院大学) 「大型種は適応進化が遅いせいで更に大型化する」	岩田 繁英 (東京海洋大学) 「複数漁場における水産生物の管理方策の検討」
⑤15:40-16:00	休憩 Break (10分)		桑門 温子 (九州大学理学研究院) 「分子フェノロジーの緯度クラインが明らかにする芽の睡眠の生理学的メカニズム」
15 : 50 – 17 : 10	O3-8:一般講演 疫学・病気D Epidemiology / Disease D 座長：佐藤 一憲	O3-9:一般講演 進化C Evolution C 座長：野下 浩司	
①15:50-16:10	佐藤 一憲 (静岡大学) 「感染性期間が指数分布にしたがわない感染症の格子モデル」	野下 浩司 (九州大学) 「ktch: モデルベース形態測定学向けPythonパッケージ」	
②16:10-16:30	和田 彩美 (静岡大学大学院) 「空間点過程に対応させた格子SISモデル」	森下 司温 (名古屋大学大学院情報学研究所) 「複雑系科学専攻」 「人工生命 Lenia への適応進化の導入」	
③16:30-16:50	太田 一輝 (静岡大学大学院) 「空間点過程に対応させた格子SIRモデル」	内田 智士 ((一社)倫理研究所) 「プロスペクト理論による認知の歪みの間接互恵行動への影響」	
④16:50-17:10	北川 耕咲 (名古屋大学) 「多階層数理モデルを用いたB型肝炎ウイルス患者の細胞内cccDNA量の予測」	佐々木 達矢 (郡山女子大学短期大学部) 「アップストリーム型とダウンストリーム型の間接互恵性の統合による協力の進化」	

Poster room (G202)

ポスター発表 Poster presentation (★ポスター発表賞対象 Poster presentation award eligibility")

★P-01 加藤 雅己 (東京大学) 環境を介して情報共有する細胞集団の強化学習的理解	★P-11 堀口 修平 (東京大学) ジャンプ過程に対する線形可解な確率最適制御	P-21 吉 鴻一 (国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構) 全寄生植物ヤセウツボの宿主植物のフェノロジーに依存した最適な成長戦略の解明	P-30 中益 朗子 魚の色素模様の3変数反応拡散モデルにおけるパターンサイズのバランスの乱れについての解析
P-02 野田 航希 (福井大学) 異常検知としての免疫学的自己・非自己識別現象の数理モデリング	P-12 平野 才人 (八幡厚生病院) 血管内皮細胞間の反発力による分岐形態の制御	P-22 関 元秀 (九州大学) ワカサギの生態・経済・栄養学カップリングモデル	P-31 今村 寿子 (九州大学大学院) 発生期大脳新皮質の血管パターン形成：誘引性・反発性ガイダンスのモデル化
P-03 船越 昌史 (京都大学) 反応拡散モデルを用いた数値解析による維管束壁孔形成条件の解明	P-13 黒川 瞬 (北陸先端科学技術大学院大学) オプトアウトを伴う多人数ゲームにおける協力の進化	P-23 Ji Yang (Center for Ecological Research, Kyoto University) Mathematical analysis of Batesian mimicry dynamics incorporating predator's learning ability	P-32 米倉 崇晃 (東京大学) 螺旋葉序における開度の発生制約と受光効率との関係
★P-04 徳野 大智 (神戸大学大学院) 免疫獲得に着目した感染症数理モデルによる数値実験	P-14 中村 栄太 (京都大学) 拡張Bradley-Terry過程を含む文化進化モデルに基づく創作スタイルコミュニティの共存条件の解析	★P-24 深澤 陸 (東北大) 琵琶湖植物プランクトン群集における力学的安定性の変化を伴うレジームシフトの実証	★P-33 吉村 公太郎 (九州大学) 中心窩無血管領域周辺でのヒト網膜血管パターンの数理モデル化
★P-05 Zhiqiong Fu (Tohoku University) An Epidemic Dynamics Model with a Limited Capacity of Isolation for a Reinfectious Disease	★P-15 大橋 由佳 (奈良女子大学) 関係性の強さを考慮した直接的評価と間接的評価による協力の進化	P-25 大平 徹 (名古屋大学大学院) パターン形成と消失の変遷の数理	P-34 菱沼 秀和 (九州大学) 生物のパターン形成を支配する数理モデルの機械学習による識別
P-06 Ying Xie (Graduate School of Information Sciences, Tohoku University) Relation of the detectability in strains to the endemicity of an infectious disease: A mathematical model	P-16 内田 耕平 (北海道大学) 島嶼性鳥類の飛翔力退化が種分化に与える影響	P-26 滕 懷宇 (神戸大学) 新型コロナウイルスを制御するための最適なワクチン接種戦略	
★P-07 丹羽 優梨奈 (奈良女子大学) いじめの非対称多人数連続戦略ゲームモデル	★P-17 井上 巨人 (神戸大学) 体長組成と骨から導くアカウミガメの生存率	P-27 石川 賢太郎 (兵庫県立大学) サッカーのPK戦における最適戦略～日本とヨーロッパの比較	
P-08 小林 豊 (高知工科大学) 死のリスクと技術的格差の拡大	P-18 新垣 大幸 (大阪大学理学研究科) 脊椎動物の生活史には分類階級によらない二種類の表現型多様性が存在する	P-28 森本 翔真 (中桐ゼミ) 野球における最適戦略:打順のシミュレーション解析	
P-09 鎌迫 睦 (広島大学) コウモリの採餌飛行における超音波センシングの意思決定メカニズムについての数理解析	P-19 Hiroyuki Yokomizo (National Institute for Environmental Studies) Novel ecological impact assessment: Effect of habitat fragmentation and environmental variation on <i>Trillium camschatcense</i>	P-29 松下 勝義 (広島大学統合生命) 極性-極性及び極性-無極性相互作用が誘導する細胞の運動秩序形成	
P-10 曹 子牧 (京都大学) 機械学習における信頼行動と生物学的マーカーとの隠れた関連性を解明する	P-20 中桐 齊之 (兵庫県立大学) 格子リンクモデルにおける捕食者被食者モデルの空間パターン形成		